

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 千共 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話
03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内藤留幸
編集主筆 竹澤知代志



議事日程から議論白熱、波乱の幕開けとなった常議員会

第35総会期

第4回常議員会

第35総会期第四回常議員会は、二月十八日から二日間、教団会議室で三〇人全員が出席して開催された。まず議事日程に関して、「出版局長選任の議題だけでなく、辞任議題もあるべき」「辞任報告のような重要案件は三分の二賛成で決すべきだ。議事の進め方について前回、明確な答弁がないまま、議長は教団新報で答弁を行った」などの意見が相次いだ。

案を過半数で決するという事は、二月十八日から二日間、教団会議室で三〇人全員が出席して開催された。まず議事日程に関して、「出版局長選任の議題だけでなく、辞任議題もあるべき」「辞任報告のような重要案件は三分の二賛成で決すべきだ。議事の進め方について前回、明確な答弁がないまま、議長は教団新報で答弁を行った」などの意見が相次いだ。

意見に対し、内藤留幸総幹事は「議長宛ての辞表には『一身上の都合で』とあったので、話し合いをしたが、折って導かれた」と答えられたので、牧師である人にならなければならぬ。出版局長の辞任承認が報告されたことについて、「二行の書記報告で済ませる問題ではない。教団総会で選任された局長が任期途中で辞任する説明が欲しい」との

した」と述べた。また報告に添付されていた北村慈郎牧師宛ての報告書について、「期限を切って回答を迫っているが、どこからその権限を委譲されたのか」との質問が出た。山北議長は「ご意見を聞いて次の段階に進むために、回答があるのは当然で、議長の権限内と思う」と答え、書記報告は賛成多数で承認された。

これに対し、「抛出の仕方、金額の決め方が不明確」というが、何をもちて不明確というのか。協議会で決めたことを何故不明瞭というのかとの質問が出た。内藤総幹事は「連帯金の四〇年間の歴史の中で不明瞭な点が多々ある。連帯金の性格が変質して来たことを

「中越」終了、募金の重点は「能登」へ

今常議員会は「教師退任報告を行う件」が焦点になるものと予想されていた。案の定、鋭い対立を見せ、激しい議論が交わされた。一方で、待ったなしの抜本的機構改革案が提示され、出版局長の交替があり、更には、「合同のとなえなおし」等継続的に議論されてきた重要課題が山積し、今後の展開はいつそう複雑・深刻化を免れない様相。春の各教区総会、秋の教団総会まで、濃密な議論が続くか。

「教師退任報告」巡り鋭く対立

内藤留幸総幹事は、総幹事報告で教区活動連帯金に触れ、「常議員会で論議してもらうため、七月常議員会に提案出来るよう事務局で準備している。分担金抛出の仕方、金額の決め方の不明確さ、配分協議会の役割についての理解の不一致など、現状の問題点を明らかにし、解決の途を探りたい」と報告した。



長山信夫「能登半島地震」被災教会会堂等再建支援委員会委員長

能登半島地震について、長山信夫・被災教会会堂等再建支援委員会委員長は、「七尾教会牧師館建築、七尾幼稚園改修、魚津教会会堂補修工事が完了した」と感謝をもって報告し、高橋潤中部教区議長は、「〇八年二月十五日現在の募金四六三万円で、中越地震募金一年目とはほぼ同様のペースで推移している。三月二三日(日)、被災を覚える礼拝を行う」と目標額一億五〇〇〇万円への支援を訴えた。中越、能登報告質疑の中で阪神淡路大地震第二次募金処理について質問。意見が相次ぎ、菅根信彦兵庫教区議長は、「最後まで残った芦屋浜教会の再建は成ったが、返済が困難となっている教会もあり、現在も募金は運用中だ。年度内には報告を完了したい」と述べた。(永井清陽報)

教師退任報告、「正しい」の字義で激しく対

昨年十月に行われた第三回常議員会において「北村慈郎教師に対し教師退任報告を行う件」が可決され、山北宣久議長から十月二六日付で同教師に対する「報告書」が送付された。本議案を扱うにあたり山北議長は、送付した報告書の内容およびその後の経過等について説明した。その中で、報告書には「この報告に対する応答を二〇〇七年十二月二二日までにご連絡ください」と添えられており、それに対して「報告書に對

する応答はできない」との内容の返事(十二月三日付)があったこと、それを受けて山北議長からなお応答を求める「ご通知」を送付したこと(二月四日付)、それでもなお応答がなければ、別紙「再勧告書」をもつて再度勧告する備えであること等が報告された。なお、「再勧告書」では、勧告に至った事実経過や未受洗者への配餐の問題点などにも触れられており、最後に「今後ともなお、全教団的合意なしに未受洗者への配

餐を行うのであれば、戒規の執行申し立てに進まざるを得ないことを申し添えておきます。上記報告に対する応答を二〇〇八年六月二〇日までにご連絡ください」とある。

勧告を受けた北村氏は、以下のように三点の疑問と二点の意見を述べた。疑問点として、①第二回常議員会の際に山北議長は、北村氏の「常議員としての資格を問う」と言っていたが、第三回常議員会を経て出てきたのは、「教師退任」だった。②山北議長は「正しい聖礼典」を強調するが、私には「これが正しい聖礼典」という意識はない。「正しい」とはどういうことか。聖礼典は人間の側の応答だから間違いもある。それを絶対化できるのか。③教憲・教規違反だというのが、私の行っている聖礼典は必ずしも違反だとは思えない。教憲・教規の理解には幅がある。山北議長は狭くとらえている。信仰告白にも問題がある。それを重んじていない訳ではない

が、聖書とイエスの方が教憲・教規に優り、教憲・教規を乗り越えるのである。次に意見として、①この度の報告に関しては多くの教会、信徒の反応があるが、これは何か。合同のとなえなおしについては十分な議論が起っていないのに、なぜこれには反応があるのか。「聖餐は教会の生命線」だというのが、私は沖縄や性差別に取り組んでいくことがより大きな生命線だと思っているの、こういう反応は奇異に思う。②『福音と世界』に書いたことは、一歩を踏み出していくことが宣教の現場では大事だということ。教団ではマイノ

リティだが、集団をとらえるときは、幅を持ってとらえるべき。報告に反対する立場から各個教会の中では教憲・教規をはみ出していく部分もあるが、それを生かし活性化するのが教団の豊かさとなる。教憲・教規一本では、一歩踏み出していく創造性が発揮されない、などの意見があった。これらに対して山北議長は、次のように応答した。①北村氏は「第34回総会は無効だ」と言っていたのに常議員となり、「沖縄不在の聖餐は受けない」と言った。そつた伏線がある。常議員を辞めたとしても違法な

聖餐を続けるのでは意味がない。②ここで「正しい」とは、信仰告白や教憲・教規に則っていること。③教団は、教憲・教規の豊かさや多様性を守っている。私たちは同じ信仰に立って天の宴に与るのである。聖餐執行のあり方や退任報告について賛否の意見が激しく交わされた他、報告書に対する応答を求めたことと「再勧告書」の意味、本議案が「報告」として承認されることの可否などを巡って議論されたが、本議案は議長が行ったことの報告として、賛成多数で承認された。(藤盛勇紀報)

総会議員百人減、出版局理事会廃止

機構検討特設委員会答申

常議員会一日目午後の機構検討特設委員会報告で、佐々木美知夫委員長は十三頁に及ぶ長文の答申を行った。

紛争後は宣教基本方策、社会活動基本方針の見直しや資料の収集、整理の実務的活動に終始して来た。

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

が、運動体の組織として成り立つために、運動体組織を優先する形で機関の仕組みが考えられており、議決機関としての運営委員会と執行機関である活動委員会

の関係、働きが重なり、経費面でも募金と教団事務局からの人件費という二重制で運営されて来た。議決、執行、業務、管理において統一の取れた責任と活動を教団諸教会に提示することが求められる。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない



多岐にわたる改革案を提言する佐々木美知夫機構改革特設委員長

難題山積の出版局長に有澤禧年

出版局理事会報告では、小島誠志出版局理事長が、秋山徹出版局長の辞任について報告した。

昨年十二月十二日、小島理事長に秋山出版局長より、山北宣久教団議長宛て辞表を提出した旨、報告があった。辞任の理由について、理事長、理事会とも十分に認識、把握しておらず

突然の申し出であった。連絡を受け一月十一日、緊急の理事会を開催し事態の把握と今後の対応について話し合いを持った。理事会では局長辞任に至る経緯、問題点について結論を見てい

ないのが本常議員会に報告することができないこと、速やかに後任の局長を選出して業務に停滞を来すことなく、また辞任に至った問題点について明らかにし早急に結論を得たいことを確認した。辞表は十二月十八日に議長により受理をされている。

この理事会報告を受けて意見が述べられたが、報告が書面なしに口頭であることとはおかしい、「辞任理由が明らかではない」など報告に疑義が述べられた一方、現時点では報告を承認し、新局長のもとで解決に

取り組むべき」との意見も述べられた。報告は賛成多数で承認された。

理事会報告承認を受け、直ちに出版局長選出が上程され諮られた。山北議長は、後任として有澤禧年教師

（八尾東）の選任を提案した。また、局長代行として選任すべきとの修正案も提案されたが、原案が賛成多数で可決された。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない

いか。各教区選出理事が制度運営に適当か、より少数の理事会が可能ではないか。教団総幹事が理事に留まっているのは適当ではない。

このため、理事七名(現二名)とし、評議員会を新設、評議員は、各教区代表十七名、東京教区支区代表五名の二名とする。

「部活解放センター」教団の業務機関の一つだ

「出版局」

現行では、運営責任は出版局長にあるが、経営責任は年数度しか出席しない理事長にあり、だれも経営責任を取っていないという実態になっている。これを改めるため、理事会を廃止し、出版局長を経営最高責任者

とする。局長をチェックするため、五名の経営審議会を設ける。

「年金局」

外部専門家の助力を受けた恒常的な諮問委員会を設置する必要があるのではない



「日本伝道 150 年」の意義を語る小林貞夫委員長

の信徒への手紙 第一章18〜25節とすることを決定した」とされ、また二〇〇九年を「日本伝道150年」の年として記念する理由については、①『日本基督教団成立の沿革において、日本国の一部ではなかった

る福音主義のキリスト教伝道開始の年としている」②「ベッテルハイムの沖縄伝道を『日本伝道開始の時』とすべきではないか、との意見があるが、その時点で

は沖縄は琉球であって、日本国の一部ではなかった」(松本のぞみ報)

③「日本の諸教会が一八五九年を起点として宣教50年、100年を祝ってきた歴史を踏まえる必要がある」等と報告された。特に沖縄伝道の件について知花正勝沖縄教区議長より、

「『合同のとらえなおし』との関連、教団沿革問題について考えないのか」との質問があり、その他「アジア諸教会と共に祝えるように」との意見もあり、結果、さらに丁寧な協議が必要との見解が示され、報告受理として承認された。また関連して記念行事、出版計画等についての提案も同時に

抗議声明

去る2月10日、沖縄県北谷町で起こった米軍海兵隊員による14歳の女子中学生への暴行事件について大きな衝撃を受けています。まことに慚愧にたえません。再発防止の声も虚しく繰り返される暴行事件に憤りを感じ、強い抗議を米軍はじめ関係者に送ります。被害を受けた中学生の癒しを祈ると共に、根にある基地の撤去のために、沖縄に住む人々と力を合わせていくことをもって痛みの共有と致します。

2008年2月18日
日本基督教団総会議長
山北宣久

キリスト教精神に基づく「隣人愛」を

二月七日〜八日、第35総会期第四回社会委員会が遠州栄光教会（浜松市）を会場に開催された。今回は社会事業同盟関係の研修を兼ねた委員会であり、礼拝奨励も日本キリスト教社会事業同盟からの選出委員である長沢道子委員が担当した。

礼拝後、社会福祉法人聖隷福祉事業団の諸施設見学に移り、遠州栄光教会の森田恭一郎牧師より聖隷クリストファー大学構内の聖隷歴史資料館にて聖隷事業の歴史や基本理念、教会との関わりを伺った。その後、聖隷三万原福祉タウンにて知的障害児施設小羊学園や聖隷三万原病院ホスピス礼

拝堂を見学した。翌日は特別養護老人ホーム十字の園にて共に朝礼拝に出席し、同施設の見学も行った。総じて聖隷事業団の業は、キリスト教精神に基づく「隣人愛」を医療、保健福祉、介護サービス等で実践している事が強く感じられるものであり、また懇談することのできた前聖隷福祉事業団理事長長谷川力氏、小羊学園理事長稲松義人氏、十字の園理事長長平井章氏、聖隷厚生園講栄寮寮長三輪尚士氏からは、現場からの声として貴重な意見や感想等を伺うこともでき感謝であった。

協議では西之園路子委員による「東海教区・中静分区における教会と社会事業」の報告や土井しのぶ委員による「性差別問題」の発題があり各教区の取り組みを分かち合った。なお今回の委員会では社会福祉施設援助金の送付

先を①寿地区センター（神奈川教区）②あいあいネット（兵庫教区）③なかよし学級（九州教区）に決定し、別件では「その他の救済資金」を適切に運用するための委員会内規を承認した。

また全国社会委員長会議（六月十六日〜十七日）の詳細を協議し、その他業務報告（地震関連、クリスマス献金関連、死刑執行への抗議等）や委員の各担当報告を受けた。（上地武報）

「新潟県中越地震」被災教会会堂等再建支援募金 目標達成、感謝 3月末で終了します

「とても無理ではないか」「しかしなんとしてでもやり遂げなければ」。1億5千万円の目標を掲げてスタートした「新潟県中越地震」被災教会会堂等再建支援募金。困難な中で更に期間を延ばし、目標も3千万円アップ。しかし、達成できました。3月末で募金は終了いたします。皆さまのご協力を心から感謝し、ご報告いたします。

「新潟県中越地震」被災教会会堂等再建支援委員会



講師の東岡山治牧師（上下教会）

「母は出産を控えて重病にかかり、母子共に危険だからと医者に妊娠中絶を勧められた。しかし自分が死んでも、周囲の反対をねのけ私を生んでくれた。母が自分の体を第一にしていたら、私はここにいない」

会場で、東岡山治牧師（上下教会）は、内容的には大変に重い、時に辛いエピソードの数々を、笑みを見せながら淡々と語った。否、涙も見たし、怒りの表情も見た。しかし講演は明るく、救い・希望が基調であった。

卒業後、部落解放（伝道）に取り組む教会への赴任を志すも、そのような教会は無く、広島で社会館を建て部落の子ども達への伝道を行うという計画のもとに、赴任、以来苦勞の数々、しかし、苦勞話ではなく、如何に豊かな出会いがあり、恵まれ、支えられ、感謝であったかという話に展開する。そこでも、御言葉と祈り

第35総会期・第四回伝道委員会が二月四〜五日、岡山教会で開催された。今回の主な議案は六つ。一つ目は、教区伝道委員長

岡本知之牧師（西宮教会）を講師に開催される予定の同会について、会場を大阪教会とし、そのプログラムを協議・決定した。二つ目は〇八年度開拓伝道援助金申請に関する件。土佐嶺南教会（三〇〇万

三つ目は、〇七年度後期分会堂貸出金申請に関する件。宮城野愛泉教会から三〇〇万円の申請が出されていたが、右の理由で決定を保留した。

四つ目は、同教会からの〇八年度分エクロフ基金貸付金申請五〇〇万円。この件も同扱いで、エクロフ委員会に推薦することとした。追加議案として、教団の

五百万円であったものを、よりニーズに応えることができるようにと一億五千万の貸出枠があることから、一千万円に引き上げることが決定された。

我キリストと偕に十字架につけられ

教団伝道委員会主催「伝道講演会」

「これを知った村のお母さん方が、毎晩お乳を下さった。このお母さん方は、被差別部落の人々であり、私もそうだった」。

二月四日（月）、岡山教会を会場に開催された教団伝道委員会主催の「伝道講演会」で、東岡山治牧師（上下教会）は、内容的には大変に

て祈った。貧しい神学生時代、貧しい神学生時代、礼拝で感動し財布を逆さにして献金したため、食べるに窮した。それを見ていたのか、牧師が家庭教師の口を世話してくれた話など、

りが、彼を導いた。実に多くの固有名詞が現れる。CMで若い人にも人気の某大物俳優など有名なも、無名の人も、聴衆からすればエピソードが多く登場人物が多過ぎて、ちょっと混乱させられる。しかし、そここそ東岡牧師の伝道が存在するのだろう。

こで起こった困難且つ恵みに溢れた出来事を、漏らさず紹介する紙数は無い。講演の後半部分は、レジメを端折って掲載しよう。私が主張してきたこと。

(1) 贖いの信仰 罪深き私の身代わりになって下さった主の恩に報いるため生涯を捧げました。何も求めず働きたい。

(2) 十字架と復活 十字架を負いたい。甦りの信仰により光が照ると信じたい。

(3) 聖霊の働き 祈りの中で聖霊をいただいて来た。

(4) 十一献金 堅田と彦根では十一献金を強調した。マラキ3章10節は真実で偽りではない。溢れる祝福されたい例を知った。

(5) アシシウム運動 信徒は朝夕聖書を読まなければならない。

(6) 部落伝道・部落解放 私

は部落に生まれたことを誇りにし感謝している。

最後、日本基督教団は素晴らしい。部落出身者を名乗る牧師に多くの役目を下さり、特にこの伝道講演会に用いて下さった。

三つ目は、〇七年度後期分会堂貸出金申請に関する件。宮城野愛泉教会から三〇〇万円の申請が出されていたが、右の理由で決定を保留した。

四つ目は、同教会からの〇八年度分エクロフ基金貸付金申請五〇〇万円。この件も同扱いで、エクロフ委員会に推薦することとした。追加議案として、教団の

五百万円であったものを、よりニーズに応えることができるようにと一億五千万の貸出枠があることから、一千万円に引き上げることが決定された。

最後は、放送伝道資金残金の使途に関する件。教団の伝道ホームページの開設

について協議したが、他にも教団ホームページを検討している委員会があるとのこと、継続審議となった。

四日夜は、岡山教会で伝道講演会を開催。「私の伝道」と題して

東岡山治牧師（上下教会）

和気教会祈祷会に合流

宣教師からの声

「種を蒔く人」として召され

バートンリス・キャシー

(UMCからの派遣宣教師)

会でした。爾来二〇年間、茨城地区の牧師先生、教会員の皆様からの御指導と教えに恵まれました。夫は巡回説教に当たり、筑波大学でも教鞭を執りました。私は女性のための英語クラスで教え、教会付属幼稚園では英語も教えました。又筑波クリスチャンセンターでは、夫婦で聖書勉強会を行い、英語を通しての外国人牧会にも当たりました。

筑波地区でInternational Training in Communications and Toastmasters Clubというクラブ立ち上げのお手伝いも



1988 年、キャサリンの卒業式
クリスチャン・アカデミーの庭で

九〇年代初め、私自身、日本語習得が困難だったので、宣教師としての意味を自問自答しました。しかし、神さまは教えて下さったのです。私の賜物は討論会・聖書研究会・英会話学校で教え導くことで、私の使命はそこで女性に仕えることであると。これを一旦受け入れると、日本での活動が意味深く、充実したものと感じられました。私たちは皆、種を蒔く人で、神様の愛を日毎の生活を通して証しする者なのです。

一九九五年に「日本へ戻ってからは明治学院の東村山高校で

四〇年近くになる日本での宣教活動、そして自分の人生を顧みるとき、これ程長い年月を経たものと驚きを隠せません。一九七〇年一月、夫ハリー、まだ乳飲み子だった娘と共に私は東京に到着しました。薄曇りの寒々とした日と記憶しています。多くの人が外出時に白いマスクをする様子を不思議に思いました。日本で生活を始めてから今まで、解らない事だらけの私を辛抱強く支えてくれたのは、仕事仲間や友人でした。心から感謝しています。最初に赴任したのは筑波学園教

でき、それはとても遣り甲斐のある仕事となりました。私生活で最も時間を要した働きは、地元学校に通う三人の子どもに英語を教えることでした。夫は次に聖学院に迎えられ、家族で東京に移りましたが、筑波での奉仕は続けておりました。一九九四年、夫が重い脳梗塞に倒れ、本国に戻って集中治療を受け、介助つきの施設に入るようになりました。これからどうすべきか、様々の選択肢を考え、折り合いました。一九七〇年に神様の使命によって日本へ送られたことを

覚え、私一人が日本へ戻り奉仕を続けるべきと決断しました。夫は米国の合同メソジスト教会運営によるブルックス・ハウエル・ホームに移り、愛情のこもった介助を受けております。娘はそこから遠くない所に住んでいます。彼らの故郷は日本です。この文化の中で、居場所を見つけようと試行錯誤をしてきましたが、一度も孤立感を味わうことなく過すことができました。永住ビザを取得して、これからもまだ日本に住み続けることを楽しみにしています。神様は私たちがどこにいても見守り支え愛して下さい方です。

「農の視点から見た憲法」

農村伝道協議会総会及び研修会



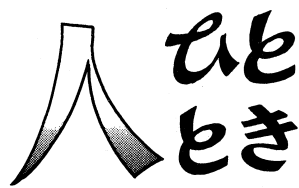
去る一月二日〜三日にかけて、農伝協の総会及び研修会が、岩手県の館坂橋教会で行われた。参加者は、日帰りも含め二五名であった。農伝協の特徴は、食材を持ち寄り調理し、それを皆で食べるという会の持ち方を大事にしている。また、教会の礼拝堂の長椅子を利用させていただき、ベッドを作り、持ち寄りの寝袋で宿泊させていただくというやり方も定着している。これをすることにより、食事への思いが入ることは当然だが、突然参加者が増えたりしても、気楽に対応できるという特徴を持っている。自給率の高いメニューを太田先生は「陸の刺身」と表現された。

今集会のテーマは「農の視点から見た憲法」だった。東山道晴牧師による開会礼拝から憲法に添った奨励は良い繋ぎになったと思う。主題講演は太田一男氏（酪農大名着教授）にしていた。印象に残る言葉を列記してみた。

◎グローバル化の意味するものは近代が古くなること。◎近代文明は役割をパーツ化し、自然人を棄民化する文明だ。◎農民等は自然人に類する。排自然人は法人や会社のことだ。◎全てのものを商品にしてしま

夕食後の現場報告は土沢教会の入江牧兄によってなされた。有機農業や地域の諸問題を述べてもらった。早天礼拝は北上教会の酒匂節雄兄によって守られ、授産施設の所長としての証しであった。総会では「農に関する活動者協議会」の反省の場となった。去年六月に土沢教会を会場に持たれた、教団伝道委員会主催の会だが、運営面への批判が多く出された。その後は次回の農伝協の内容の事等が話し合われた。

閉会礼拝は篠崎勲牧師による奨め守られた。その後そつじをしたり、おにぎりやにぎつたりして別れた。(田中洋一報)



後藤 和子さん

地に足をつけて



1932 年 8 月生。関東教区宣教師部委員、関東教区伝道委員会書記、館林教会長老・CS 教師。

機屋^{キヤ}商人の四人姉妹の次女として生まれる。先に姉が生まれたので両親は次こそ男の子、と期待されていた。両親の期待を裏切った事を肌で感じて成長する。それ故、ひねくれ、ひがみ根性たつぷりの性格に育った(本人の弁)。敗戦当時の中学校担任教師は、東京女子大卒業生であり、その人格的影響を強く受けて日本女子大学に進学した。そこでキリスト教と出逢い、町本郷教会に足を運ぶようになる。そして当時の田崎健作牧師から洗礼に与った。日本女子大在学中は、学生YWCAの会長を務め、カンファレンスで日本全国を回って活躍する。大学卒業と同時に父親により実家に引き戻されるが、館

林教会の前身となる働きをしてきた金子牧師夫人と、農繁期に子どもを預かる季節託児所を立ち上げた。その頃から地域の学校長の裁量で、音楽の教師として採用される。しかし、キリスト者として未熟な私では「生徒を指導する事が出来ない」と言う思いが強くなり、二年で退職した。その後、東京YWCA野尻キャンプの動きに転向するが、あんなに逃げ出したかった学校を離れると、逆に恋しく思い出され、子ども達の顔が次々に浮かんで消えた。

その後、結婚後主婦となった時に与えられた。臨時で中学校の社会科教師として採用され、その後、東京YWCA野尻キャンプの動きに転向するが、あんなに逃げ出したかった学校を離れると、逆に恋しく思い出され、子ども達の顔が次々に浮かんで消えた。転機は、結婚後主婦となった時に与えられた。臨時で中学校の社会科教師として採用され、その後、東京YWCA野尻キャンプの動きに転向するが、あんなに逃げ出したかった学校を離れると、逆に恋しく思い出され、子ども達の顔が次々に浮かんで消えた。

昨年十二月三日〜六日、台湾新竹市聖経学院で台湾基督長老教会主催の会合が持たれた。人権宣言三〇周年国際研討会である。出席者はスタッフ二八名を含めて三十五名、国際と名付けられた会だけに十五ヶ国から代表が集った。

あの時、台湾基督長老教会(以下PCTと記す)が非常な苦難に立たされている台湾の国際的現状にあって世界に向けて発した人権宣言に大きな衝撃を与えられ、教団も自覚めさせられた。この大会がいかに大切な意味を持つものであるかは歴代の総会議長・投獄生活を続けさせられた高俊明元総幹事らが講演をなし、アピールを発していたことから充分伝わってきた。私も三〇分のレスポンスを担当

人権宣言30周年

させていたのだが、同胞のために苦しみ闘いを引受け、深い祈りと信仰に裏打ちされた勇氣ある言動によって教団もどれだけ教えられ、励まされてきたことが、PCTとの生命的交わり、絆に感謝し

(教団総会議長 山北宣久)